

2025年度
フェリス女学院大学への交流学生
募 集 要 項

同志社女子大学 教務課

フェリス女学院大学

★ホームページ <https://www.ferris.ac.jp/>

◇1870年創立。旧制専門学校、短期大学を経て、4年制大学を設置。
全学生数 約2,000名。

◇2024 年度以前入学者

3学部5学科

文学部 : 英語英米文学科、日本語日本文学科、コミュニケーション学科
国際交流学部 : 国際交流学科
音楽学部 : 音楽芸術学科

◇2025 年度以降入学者

グローバル教養学部 : 国際社会学科、心理コミュニケーション学科、文化表現学科

◇フェリス女学院大学はセメスター制になっており、学期ごとに科目を登録する。

◇文学部・国際交流学部 : 1～4 年次 ^{りょくえん} 緑園 キャンパス

◇音楽学部 : 1,2 年次は ^{りょくえん} 緑園 キャンパス、3,4 年次は ^{やまて} 山手 キャンパス

(両キャンパス間はスクールバス(無料)で約40分。電車の場合は約50分。)

緑園キャンパス : 横浜市泉区緑園4-5-3

山手キャンパス : 横浜市中区山手町37



同志社女子大学とフェリス女学院大学は、交流学生に関する協定を締結し、1998年度より、相互に学生の派遣および受入を行っています。これは、本学の学生がフェリス女学院大学のキャンパスで科目を履修するとともに、フェリス女学院大学の学生が本学で科目を履修するという相互国内留学制度です。1年間または1学期間、異なった環境のもとで本学にない科目を学習することにより、勉学面ばかりでなく生活面でも視野を広げる絶好の機会です。この制度の概要および出願手続を以下のとおりご案内します。

1. 募集人数 各学期2名程度 (派遣期間 1年間 もしくは 1学期間)
2. 応募資格 1、2 年次生 (応募した次年度の2、3 年次に派遣)
3. 選考方法 学内成績および面接

学内成績 (45 点満点) および面接 (55 点満点) を以て、選考を実施し、合計 70 点以上を合格とする。「学内成績」については、出願時の前学期末までの累積GPAの10 倍とする。最終決定は書類選考によりフェリス女学院大学が行います。

※ 面接日 2024年10月23日 (水) 17:00以降 (予定) キャンパス未定
(一人15分程度)

4. 出願方法

出願受付期間 2024年9月30日(月) ~ 10月8日(火)

所定の「フェリス女学院大学交流学生派遣願」を教務課に提出してください。

用紙は教務課で配布、もしくは希望者へ郵送いたします。

連帯保証人※(父または母等)の署名も必要ですので、希望者は早めに入手してください。

5. 単位認定

- ・フェリス女学院大学で、本学の科目と同等であると本学が認める科目を履修した場合は、それぞれ対応する本学の科目を履修したものとみなして、修得した単位を本学で認定します。
- ・フェリス女学院大学の科目を“本学の科目と同等であると本学が認める”ためには、フェリス女学院大学の科目とそれに対応する本学科目とが、科目内容に類似性があり、単位数は同等であることが必要となります。
- ・共通学芸科目は、科目別認定ではなく分野認定とするため、同等の内容でなくても認定可能です。
- ・本学の成績通知書と成績証明書では、評価は「認定」、成績は「N」と記載されます。

① 認定単位数の上限について

フェリス女学院大学で修得した単位の認定は、

派遣期間が
1年間の場合

本学在学中に他の大学等で修得した単位の認定上限 40単位の範囲内で、卒業に必要な単位として認定可能です。

派遣期間が
1学期間の場合

本学在学中に他の大学等で修得した単位の認定上限 30単位の範囲内で、卒業に必要な単位として認定可能です。

なお、本学在学中の下記a～fの項目の認定単位数は、上記の上限40単位もしくは30単位の中に含まれます。

従って、a～fの項目の認定をすでに受けている場合や、今後受けたいと考えている場合は注意が必要です。

a. 同志社大学との単位互換制度に基づく認定

b. 金城学院大学との単位互換制度に基づく認定

c. 奈良県立医科大学との単位互換制度に基づく認定

d. 大学コンソーシアム京都単位互換制度に基づく認定

e. 放送大学との単位互換制度に基づく認定

f. 文部科学大臣が定める学修等による単位認定

(2023年度「履修要項」P23-26参照)

*** 本学1年次に入学され、入学時に他大学等で修得した単位の認定を受けている方が、フェリス女学院大学で修得した単位の認定を受ける場合は、先述の認定単位数の上限40単位もしくは30単位以外に、**

「入学時の認定単位数」+「入学後の認定単位数」=60単位の範囲内での認定という条件もありますのでご注意ください。

② 派遣期間の在学期間への算入について

フェリス女学院大学への派遣期間は、本学の在学期間に含まれます。休学する必要はありません。

先述①程度の単位認定を受けられれば、派遣期間を含めて4年間で本学を卒業することが通常可能です。

注意!

*所属する学部学科・専攻によっては、本学を4年間で卒業できない場合があります。

特に自分の所属する学科・専攻とは別系統の学科への派遣を希望する場合は、事前に教務課で相談してください。

*国際教養学科の方は、国際教養留学との兼ね合いで、本学を4年間で卒業することができない場合があります。

*食物栄養科学科、医療薬学科、看護学科の方は、類似の学科がフェリス女学院大学にないため、本学を4年(医療薬学科は6年間)で卒業することはできません。

6. 開講科目

- ・今年度の開講科目および科目内容は、フェリス女学院大学の「開講科目表」および「シラバス」で確認することができます。「開講科目表」および「シラバス」はフェリス女学院大学のホームページで確認することができます。(https://www.ferris.ac.jp/)
- ・フェリス女学院大学ではいずれか1つの学科に所属することになります。所属学科の正規学生がとれる科目は、原則としてすべて履修可能ですが、実習科目や少人数クラスの関係などで科目によっては履修できない場合もあります。
履修可能科目の詳細は7ページの「同志社女子大学交流学生（受入学生）の履修可能科目について」をご確認ください。ゼミおよび語学科目、音楽学部音楽芸術学科専門科目（PA科目を含む）の履修を希望する場合は、派遣が決まった後、早めにフェリス女学院大学へ相談をする必要があります。
- ・横浜市内にキャンパスを持つ国公立12大学で構成される単位互換制度があり、正規学生と同様に履修することができます。（履修を希望する場合は、派遣が決まった後、早めにフェリス女学院大学に相談する必要があります）

7. 学費・費用

学費は、本学に通常通り納入してください。フェリス女学院大学の学費を二重払いする必要はありません。但し、国内交流先の費用は全て個人負担となります。その他、生活費、交通費等も個人負担となります。

8. 宿舎

フェリス女学院大学が指定する宿舎は、緑園キャンパス近郊の女子学生会館にあります。交換留学生も入居していますので身近に異文化交流を体験できます。学生の居室は個室ですが、キッチン・バス・トイレは共有です。

※各自で下宿先を探すことも可能です。希望の方はフェリス女学院大学まで相談してください。

9. その他

- ・フェリス女学院大学では、フェリス女学院大学の正規学生に準じた取り扱いとなり、規則等に従い、学内諸施設を利用することができます。
- ・履修制度や試験方法等、本学とは異なる制度（授業に3分の2以上出席していないと担当者が判断した場合に試験を受けることができないなど）もあります。派遣されることになった場合、フェリス女学院大学の「学生要覧」等をよく読んで理解しておいてください。

■ 教職課程等、免許資格に関する課程の履修希望者へ

- ・フェリス女学院大学にも教職課程（英語・国語・音楽の中一種免、高一種免および社会の中一種免、地歴・公民の高一種免）があり、本学の交流学生がフェリス女学院大学で履修した教職課程科目を、本学の教職課程科目の単位として認定することが可能です。
- ・教職課程科目への単位認定では、フェリス女学院大学の科目とそれに対応する本学科目とが科目内容と単位数において同等である他に、「免許法施行規則に規定する科目」（『免許・資格関係履修要項』参照）の合致も必要となります。フェリス女学院大学で履修すべき科目について、**必ず、本学の免許・資格課で事前に履修指導を受け、今後の履修に関して見通しを立てた上で出願してください。**
- ・卒業に必要な単位に算入できない教職課程科目についても、2ページ記載の**認定単位数の上限40単位もしくは30単位の中に含まれますのでご注意ください。**
- ・教育実習および教職実践演習はフェリス女学院大学では履修することができません。教育実習や介護等体験等に関する本学での手続き等については、事前に免許・資格課で確認しておいてください。国内留学中でも必要に応じて免許・資格課と連絡を取るようになしてください。

★ 本学で取得できるその他諸資格の取得希望者についても、必ず、事前に免許・資格課で履修指導を受け、今後の履修に関して見通しを立てた上で出願してください。

2025年度 フェリス女学院大学 派遣スケジュール(予定)



2025年度同志社女子大学交流学生（受入学生）の履修可能科目について

1. 受入学科における履修可能な専門科目【2024年度以前入学者】

学部	学科	科目
文学部	英語英米文学科	「Field Study1,2」「Summer Abroad (US)」「Summer Abroad (UK)」「Spring Abroad」 「卒業論文」を除くすべての科目
	日本語日本文学科	「日本語教育実習1、2」「地域日本語教育実習」「年少者日本語教育実習」「卒業論文」を除くすべての科目
	コミュニケーション学科	「卒業論文・卒業制作」を除くすべての科目
国際交流学部	国際交流学科	「ヨーロッパ現地実習」「オーストラリア現地実習」「Spring Abroad」「アジア現地実習」「海外環境フィールド実習」「海外エコツーリズム実習」「卒業論文」を除くすべての科目 ただし、「専門演習」については、履修条件が付されている場合があります。 ※履修年次に達していない科目の履修については、個別相談を要します。
音楽学部	音楽芸術学科	「公開講座・コンサート鑑賞」、「卒業プロジェクト」を除くすべての科目 ※履修条件が付されている科目については、別途相談してください。 ※実技料別納のレッスン科目（PA科目）を履修する場合は、別途実技料が必要となります。納入方法は履修確定後にお知らせします。

2. その他

区分	科目
共通科目	CLAコア科目 「プロジェクト演習」を除くすべての科目 「ボランティア活動(短期)、(中期)、(長期)」「キャリア実習(短期インターンシップ)、(長期インターンシップ)、(短期就業体験)、(長期就業体験)」については、あらかじめ相談を要します。 ※「ボランティア活動(短期)、(中期)、(長期)」「キャリア実習(短期インターンシップ)、(長期インターンシップ)、(短期就業体験)、(長期就業体験)」は、活動期間及び履修登録期間に在籍していることが前提となります。
	語学科目 すべての科目 ① 英語科目（英語選択科目を除く）は、レベル別にクラス分けをしているため、履修を希望する場合には、本学の提供するCASECを受験し英語能力を測定する必要があります。 ② 英語インテンシブ科目については、あらかじめ相談を要します。 ③ 初習外国語インテンシブ科目については、あらかじめ相談を要します。 ※履修年次に達していない科目の履修については、個別相談を要します。
他学部・他学科の専門科目	原則として、本学学生と同様に履修可。ただし、音楽学部専門科目の履修については、あらかじめ相談を要します。
教職に関する科目	「教育実習1、2、3」「教職実践演習(中・高)」を除くすべての科目

※受け入れ時は、2・3年次のため、2024年度以前入学者の文学部・国際交流学部・音楽学部の所属となります。

※それぞれの科目について、実習費や交通費等、別途費用が必要になる場合があります。

詳細はシラバスで確認してください。

※各学科のゼミ相当科目の履修については、個別相談を要します。

※原則として、上記の科目は履修可能ですが、人数制限等の事由により、履修ができない場合があります。